

平成29年度第3回 鹿児島市地域情報化推進委員会 会議録

日時：平成29年10月24日(火) 11:00～11:57
 場所：東別館9階特別中会議室
 出席者：[委員] 出席8人(欠席2人) ※別紙のとおり
 [事務局] 総務部長、情報システム課長、IT推進係長、担当者
 会次第：1 開会
 2 協議
 (1) 第四次鹿児島市地域情報化計画の素案について
 3 閉会
 議事概要：以下のとおり

発言者	発言内容
【協議(1)】第四次鹿児島市地域情報化計画の素案について	
事務局	〔「資料1」「資料2」等に基づき説明〕
意見・質疑応答	
委員	・基本方針と施策との関連性を、どこかで示すことはできないのか。
委員長	・4つの基本方針から10の施策がどうやって出てきたのか。意味づけが弱いのではないか。
事務局	・10の施策の考え方については、第五次総合計画を情報化の側面から支援するため、総合計画の基本目標と基本施策に基づき、関連する分野ごとに設定したものである。
委員長	・各部署からあがってきたものを練って、10の施策にしたというような表現があると分かりやすいのだが。
事務局	・庁内で検討させていただきたい。
委員長	・今回のものでパブコメをすることになるのか。
事務局	・庁内で検討している段階のものなので、来月の推進本部会議で協議したものをパブリックコメントにかける予定である。
委員	・施策、基本方針がつながるストーリーがどこかで見えればよいのだが。
委員	・産業振興関連の施策があまり感じられない。野村総研の成長可能性都市ランキングで本市は5位、ポテンシャルが高い都市としては2位。にぎわい交流の一環という気はするが、産業振興の観点において、10の施策の中に全国から鹿児島市に来てほしいというような表現がないように感じる。「情報関連企業の立地」と「新規創業者等の育成支援」が施策5に入っているが、それで全部か。
事務局	・産業振興については、基本方針2を「地域の産業振興のためのICT利活用」としているが、その産業の中に観光も含んでおり、具体策一覧において、観光関連の施策4も、基本方針2に関連するものとしてあげている。
委員長	・産業振興関連の基本方針2に該当する具体策が少ない。地方創生のしごとづくりでIT産業に関連するものはないのか。
事務局	・この計画の中においては、「新規創業者等の育成支援」や「オープンデータの推進」などが地方創生に関連する取組である。
委員長	・この計画の中には、地方創生との関係が出てこない。関係性を示すことで、地方創生にも力を入れていることを印象づけることができるのでは。

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市が成長するという観点でいえば、産業は大事。全国から本市を見たときに、「産業もすごく発展する」「ポテンシャルもある」と言ってもらっているのだから、産業に関連するような情報を記載してもらいたい。産業成長というのは非常に重要な観点であるので、少なくとも項目として何かあげる必要があるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に基づいて地方創生も取組がなされている。地方創生と地域情報化計画はイコールではないが、一部重なるところも出てくる。地方創生との関係性を本計画のどこかに示すことができないかというのは、検討させていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島は農産業に強いというイメージがある。全国的には、農産業にITを活用する取組が多いように感じる。農業にクラウド化などIT的なものを導入する場合に補助を出すというような施策は増やせないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> お示ししている具体策は、今の時点で具体的に計画に書くことができるものを、庁内の関係課に照会した結果である。今日の段階で、産業振興の面でこれ以上に施策を増やせるか、あるいは農業関係で何らかのICTに関連する支援業務を増やせるかということについては、改めて庁内各課に照会をさせていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 災害時等に正しい情報を発信していくという姿勢を計画に盛り込まないのか。情報源として信用してもらうためには、姿勢を示しておくことが大事。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページやSNSなどでの情報発信の中で、よりの確で正しい情報が伝わるよう充実を図っていくこととしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「正しい」という言葉が大事。この言葉を計画に入れるよう検討を。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 素案を固めていく中で、参考にさせていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「Jアラート新型受信機の導入」について、機器の導入を具体策とするのは違和感がある。表現の問題かもしれないが、新型というのであれば拡充とか他の表現のほうがよいのでは。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 表現のほうは検討させていただきたいが、Jアラートについて、現在も防災行政無線などを通じて皆様に情報をお伝えしているが、それをより迅速化・高速化して伝達するという目的のために、新たに導入しようとするものである。

平成29年度第3回 鹿児島市地域情報化推進委員会 名簿

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ クニヒコ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	
3	委員	カイ カオル 甲斐 薫	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーシヨン	会員	※欠席
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
5	委員	カシワギ リサ 柏木 梨沙	公募委員		
6	委員	トクナガ アリサ 徳永 麻里紗	公益社団法人鹿児島青年会議所	国際室長	※欠席
7	委員	ナカゾノ シンゴ 中園 信吾	公募委員		
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長	
9	委員	ホリエ ジュンジ 堀江 順司	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	
10	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	

※50音順(敬称略)